芭蕉布を織る女たち
ー連帯の手わざー

1981年製作／監督：村山英治（カラー30分）
文部省選定、芸術祭優秀賞、毎日映画コンクール教育文化映画賞 他

南国の着物として古くから人々に用いられてきた芭蕉布。しかし現在では沖縄県の大宜味村喜如嘉で主に製作されるほかは、ほとんど見られなくなってしまっている。太平洋戦争を境に衰微してしまった芭蕉布の復興に、生涯をささげてきた『喜如嘉の芭蕉布工房』の平良敏子さんを中心に、糸芭蕉の栽培から染色、織りと一貫して共同作業で行われる製作工程を追い、製作にかかわる女性たちの思いを映し出す。






写真提供 :公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団

海燕社（かいえんしゃ）の小さな映画会2019

後援：沖縄県、那覇市

企画：ポーラ伝統文化振興財団
×
製作：桜映画社

シリーズ〈伝統工芸の名匠〉

企画製作:財団法人ポーラ伝統文化振興財団　製作協力:株式会社 桜映画社


記録映画より抜粋（写真提供:公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団）

芹沢銈介の美の世界

1984年製作／監督：村山英治（カラー35分）
文部省選定、芸術祭大賞、教育映画祭最優秀作品賞 他

芹沢銈介は、明治の末から大正初期にかけて『大正デモクラシー』の新風そよぐ時代に青春期を過ごし、芸術を志した。やがて工藝の道へと歩みだす。その行く手を指し示したのは、民芸運動の指導者・柳宗悦であり、沖縄の型染『琉球紅型』であった。作品は多種多彩。型染はもちろん、型絵染を生かした装丁、挿画、そして多くの生活工芸品のデザインにまで及び、どれも比類ない輝きに満ちている。




2019年2月16日(土)18:30～(18:00開場)

沖縄県立博物館・美術館 講堂(3F)

料金 1,000円(要予約)　予約／問合せ 098-850-8485／mail@kaiensha.jp(カイエンシャ)

九州・沖縄から 文化力 POWER OF CULTURE